

OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行：関西学生サッカー連盟
2009年11月14日発行 第18号

JUFA Kansai

第87回関西学生サッカーリーグ
2009年11月14日(土)・15日(日) 後期9節

関西学生サッカーリーグ 後期 第9節

今節、喚起はどこに!?

写真：立命大



第8節 同大-立命大より

Photo: UNN 関西学生報道連盟

第8節で首位・関学大が大院大に惜敗し、首位が入れ替わったが、インカレ圏内が7位までの状況は変わらず。残り試合数が少なくなったことで下位はよりシビアな展開に…。意地をかけた戦いも残りあと3試合…まずは今節、どんなドラマが生まれるか!?

■11月14日(土) @三木総合防災公園陸上競技場<第1試合> 11:30 Kick off 同大-阪南大

前節で痛敗戦を喫した同大。しかし「終わったわけではない、まだ(インカレの)可能性も薄が残っている。ベーシックな所でどれだけ相手を上回れるか」と望月慎之監督。視線の先はそのままに、気持ちで戦う。対するは後期、勝ち星を重ねインカレ圏内まであと一步と迫った阪南大。須左徹太郎監督は「同大からは直接対決だし、大産大もあなどれないが、絶対モノにしたい」と残り3試合を見据え、まずは今日の試合に懸ける。「とにかく厳しいゲームになるが頑張りたい」(須左監督)

<第2試合> 14:00 Kick off 桃山大-立命大

上位との対戦で勝ちあぐねている桃山大。現在、インカレ圏内ぎりぎりの位置につける。松本直也監督は「目標は修正しないといけない。しかし応援して下さる皆さんのために勝ちに行きたい」と気持ちを切り替えて決意を新たに臨む。対する立命大は前節、なかなか勝てなかった同大相手に大きい勝ち星を取った。「一試合一試合が大切。ひとつひとつ先を見ずに勝ちすすんでいけたら」と福本尚純主将。集中を切らさず目の前の試合に臨む。

■11月14日(土) @西京極総合運動公園補助競技場<第1試合> 11:30 Kick off 大産大-京産大

前節、大体大に3-0で快勝した大産大。「自動降格圏からは勝ち点が離れた。このままの勢いで8位まで上がりたい」と橘章斗は更なる上昇を誓う。それに見合うサッカーは出来ている。対する京産大は前節のびわこ大戦に惜敗し勝ち点は13。「状況的に引き分け以上が必須」と古井裕之監督は計算しつつ、「相手がどこでも関係なく勝つしかない」というのが本音。「来年以降、自分たちがどのステージでサッカーがしたいのかを特に3年以下がどう表現するか」とも古井監督。京産大イレブンの意地を見たい。

<第2試合> 14:00 Kick off びわこ大-大教大

1部残留を確定させるにも勝利が必要なびわこ大。前節の快勝に貢献した平野甲斐も今日の試合を「絶対に負けられない試合」と位置づける。勝点奪取が必至だ。一方、「波があるが、強いチームにも勝ってきている」と入口豊監督はびわこ大を警戒。自身の順位を上げるため、こちらも勝点奪取が必至だ。「ウチは3、4点の取り合いは絶対に無理なので、とにかく1点勝負にもちこまないといけない」とも入口監督。意地のぶつかり合いの結果は如何に。

■11月15日(日) @三木総合防災公園陸上競技場<第1試合> 11:30 Kick off 大院大-大体大

前節、首位・関学大相手に勝利し順位を上げた大院大。「ワイドに速い選手がいるので、そこを抑えられればウチのゲームができると思う」と吉井直人。後期ここ6試合負けなしの勢いそのままに大体大戦に臨む。対する大体大、第8節終了後には数人の選手に声を掛けたが、落ち込みが激しく言葉にならない。松本良太主将に「3連勝、勝ち点9ですね」と話を向けやっと思事があったくらい…。まず気持ちの切り替えと自信を取り戻す事を意識しなければいけないか。

<第2試合> 14:00 Kick off 関学大-関西大

「今日も、関関戦も、その後も、普段と同じように行くだけ」と第8節・大院大戦後に成山一郎コーチ。優勝争いにかかわる重要な試合だが?の質問にも「それを考えるのはまだ早いと思う」と一言。とにかく関学サッカーを展開し、結果を着いてこさせる。一方、自身が桃山大に勝利し、関学大の結果もあり首位に躍り出た関西大。川野大介は「国立で日本一を飾るためには、まだまだ内容が物足りない。みんな同じ気持ちです」とチームの総意を語った。高みに向けて、関西大はストイックであり続ける。

安定感抜群で首位を走る関学大。一方、大院大は10日間で4試合という強行日程を乗り越え、5戦無敗を続ける。大院大には相手エース⑨村井匠をいかに封じることが問題だった。村井独特の1テンポ早いタイミングのジャンプに2CB④吉井直人、63嶋尾巨人は苦しむが、「競り負けても、体を寄せて『芯』を外せ」という藤原義三監督の指示を忠実に遂行し、味方がこぼれを拾うという地道な作業が奏功した。さすが好調同士の対戦、大院大はFW53四ヶ浦寛康、嶋尾、関学大は村井、FW⑩阿部浩之に絶好機が来るが、すべてワクを外す。

後半、村井に加えFW29持田和明を投入し、前線にもう1つポイントを作った関学大だが、大院大のハードワークがそれも消した。69分、大院大の鮮やかなカウンターが炸裂。右サイドからMF⑥高橋周也、四ヶ浦とつなぎ、左を駆け上がったMF⑭平岡大毅がフリーで決め、長かった均衡が破れた。追う関学大は阿部の好シュートをGK①古矢光宏に阻まれ、混戦からのシュートもDFにブロックされる。そして82分、MF⑦加藤健太の絶妙クロスで岡村がGKの逆を突くヘッドで2-0、勝敗は決した。首位攻防の関開戦を前に関学大には痛い敗戦。大院大にはインカレ出場も見えてきた。

(文：サッカーライター 貞永 晃二)

関学大 0 - 2 大院大

■11月7日(土) 14:00 kick off
@ 鶴見緑地球技場

◆得点(アシスト)◆
大院大 69分 14 平岡 大毅(53 四ヶ浦 寛康)
大院大 82分 9 岡村 和哉(7 加藤 健太)

びわこ大 5 - 1 京産大

■11月8日(日) 11:30 kick off
@ 山城総合運動公園太陽が丘球技場B

◀◆得点(アシスト)◆
びわこ大 2分 7 小池 遼
(25 篠部拓真・36 吉澤 春風)
京産大 35分 2 濱田 太一
びわこ大 51分 13 平野 甲斐
びわこ大 53分 25 篠部 拓真(13 平野 甲斐)
びわこ大 59分 13 平野 甲斐(5 内野 貴志)
びわこ大 88分 13 平野 甲斐

一部残留のために負けられない両チームの戦い。試合は開始早々に動いた。

2分、スローインのリスタートから見事な連携で最後はMF⑦小池遼が豪華に決め、びわこ大が先制する。その後もびわこ大ペースで試合が進むが終盤、京産大も粘りを見せ35分、MF⑬中武真哉のFKからのゴール前の混戦のこぼれをDF②濱田太一が押し込み前半のうちに同点とする。

後半開始5分、びわこ大FW⑬平野甲斐の飛びだしを阻止したとして京産大・濱田が退場処分を受ける。これにより得たPKを「緊張してた」と言いつつも平野がGKを良く見て狙い澄ましゴール左隅に決め、びわこ大が勝ち越す。京産大は納得のいかないカードで集中力が途切れ、DFが退場したことで補充の為に選手交代を余儀なくされる苦しい状況に。その後、「勝たなければならない試合だったため前掛かりになっていた」(古井裕之監督)京産大に、びわこ大が怒濤の攻撃で2点を連取し試合を決定付けた。

88分にもびわこ大・平野が自身として公式戦初のハットトリックとなる得点を決めダメ押し。「個人タイトルよりもチームが勝つことが全て」と平野。5-1の快勝を笑顔で語った。
(文：関西学連J)

前節、両者ともに勝ち点を落とし迎えた宿命の一戦。現在リーグ上位に位置し、熾烈な順位争いを繰り広げる両チーム。優勝戦線に残るためにも、互いに負けられない一戦となった。

試合が動いたのは開始わずか2分。立命大MF24加藤恒平が左サイドからあげたクロスに⑩内田昂輔が反応。絶妙なタイミングでゴール前に飛び込み、ヘディングシュートを決める。まだボールが落ち着かない時間帯での先制。「あの1点があったから流れにのれた」(福本尚純主将)。逆に立ち上がりの失点により厳しい状況を強いられた同大。立命大ゴールに向かいパスを繋ぐがフィニッシュまで及ばず、前半のシュート数を互いに1本ずつとし、後半を迎えた。

76分、同大DF⑤永戸康士のファールによりペナルティエリア中央付近からのFKを得た立命大。蹴るのは、福本。壁を超えたボールは綺麗な弧を描き、そのままゴールへ。勝負を決定づける直接FKが決まった。

「結果につながれば気持ちで体も動くが、(今のチームには)停滞感がある」と、試合後2連敗中の現状を振りかえった同大・望月慎之監督。同じようにチャンスを決めきれず、敗戦を喫していた両チーム。リーグ終盤に向け先を見据える両者を、大きく分かつ一戦となった。
(文：同志社スポーツアトム編集部 伊藤 紗由里)

同大 0 - 2 立命大

■11月8日(日) 14:00 kick off
@ 山城総合運動公園太陽が丘球技場B

◆得点(アシスト)◆
立命大 2分 10 内田 昂輔(24 加藤 恒平)
立命大 78分 8 福本 尚純